

あなたは5秒で 時速何km? check!!

信号が赤から青になると車を発進させます。
発進から5秒経過した時、おおよそ時速何kmで
走っていますか？



正解は5秒間で時速20kmです。

ふんわりアクセルを実施すると燃料費全体の9.7%を削減することができます。

1 時速40 km 位	少し急いだ発進です
2 時速30 km 位	まだまだ燃費向上の余地あり
3 時速20 km 位	ふんわりな発進ができています
4 時速10 km 位	あまりに遅すぎるとかえって燃費に悪影響が出ます

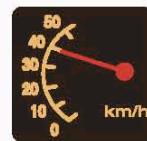
今月のテーマ 〇〇〇〇〇 ふんわりアクセル



発進時の運転操作



発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう(最初の5秒で、時速20km程度が目安です)。日々の運転において、やさしい発進を心がける。これだけで10%程度、燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。



ブレーキから足を放し1呼吸おくぐらいでアクセルへ移動します。



アクセルは、なめらかに、ゆっくり踏み込みます。



遅れにのり少し手前でアクセルを握るとスムーズに走行できます。

ゆっくり発進、ゆっくり停止

エコドライブの基本です

操作のポイント

1 まずは、普段より少しゆっくり発進してみましょう。



5 普通発進のつもりで発進してみる

慣れてきたら...

2 ゆっくり5つ数えたらスピードメーターをチェック回転計があれば2000rpm程度を目安に



3 速度の上昇に応じてエンジンが高まるようにアクセルを踏み込みます。



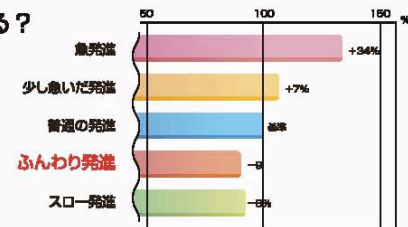
4 路線バスの発進加速を参考にするのも良い方法です。

■ ふんわり発進するだけでどんな効果がある？

少し、ゆっくりするだけで大きな効果！
普通の発進にくらべ燃料消費が約10%節約できます。

・燃費計装着車の場合、安全に注意して燃費計を活用しましょう。

最近では、燃費計を装着した車が増えています。燃費が瞬時に判ればエコドライブの効果を確認したり、レベルアップに大変有効です。



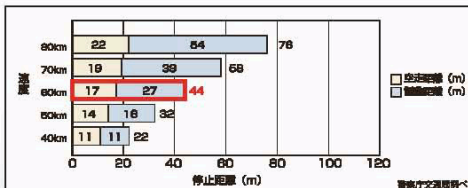
発進から40km/hまで加速、その後40km/hを維持する条件下、200名以上のドライバーの燃費消費の比較 (30人のドライバーの平均、省エネルギーセンター調べ)

普段、時速60kmで
どのくらい車間距離を
空けて走っていますか？



正解は44mです。
車間距離への意識と実践がエコドライブにつながります。

適切な車間距離の目安



空走距離・・・危険を感じて急ブレーキを踏み、ブレーキが効き始めるまでの距離
制動距離・・・ブレーキを踏んでから実際の車が停止するまでの距離

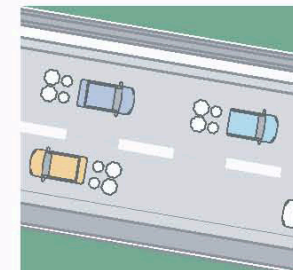
グラフは速度に応じた停止距離 (= 車間距離) の目安です。また、距離で感覚をつかみづらい方は、時間を数える車間時間の方法をおすすめします。前走車が電柱など目印になる物を通じたと同時に時間を数えてみてください。一般道では2秒以上、高速道路では3秒以上が目安になります。

今月のテーマ 走 行 ~加減速の少ない運転~

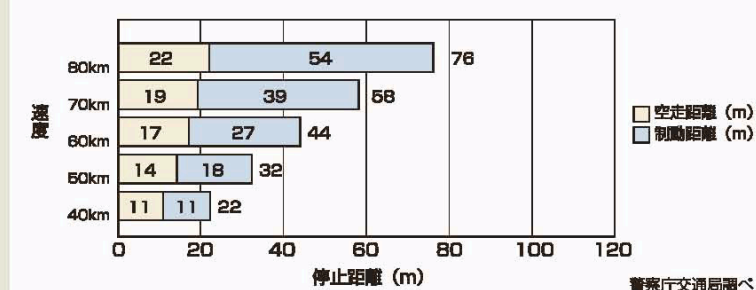


まずは余裕の車間距離

車間距離に余裕を持って加減速の少ない運転を実施すると、燃料消費全体の3.4%を削減することができます。
車間距離とは「走行中の車と車との間で、安全のために保つ距離」であり、適切な車間はスムーズなエコドライブにも必要なポイントです。



適切な車間距離の目安



空走距離・・・危険を感じて急ブレーキを踏み、ブレーキが効き始めるまでの距離
制動距離・・・ブレーキを踏んでから実際の車が停止するまでの距離

上記グラフは速度に応じた停止距離 (= 車間距離) の目安です。また、距離で感覚をつかみづらい方は、時間を数える車間時間の方法をおすすめします。前走車が電柱など目印になる物を通じたと同時に時間を数えてみてください。一般道では2秒以上、高速道路では3秒以上が目安になります。

車間距離への意識と実践がエコドライブにつながる!

アクセルワークは緩やかに

車間距離の確保ができれば、次は加減速の少ない緩やかなアクセルワークを実践しましょう。ポイントはできる限り加減速を少なく一定速度で走行することです。ただし、一定速度で走行していても、無意識にアクセルペダルを小刻みに踏み込んでいる可能性があります。最近の車はコンピューター制御により、わずかな踏み込みで燃料の噴射量が変わります。アクセルの踏み込みを一定にすることが走行時のポイントです。

アイドリングはどのくらい損？

HYOGO
SMART
MOVE



エコドライブリーダープロジェクト

10分間エンジンをかけて停止した場合、 どれくらい燃料を消費する？



正解
130cc

例えば、40分エンジンをかけたまま停止した場合、ペットボトル約一本分(520ml)になります。

皆さんは下記の場面でアイドリングストップしていますか？



走行していなければ無駄な燃料消費となるため、駐車時にはエンジンを止めるよう心掛けましょう。
ただし、交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため
注意しましょう。(自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。)

エコドライブリーダープロジェクト ミーティング資料

今月のテーマ

アイドリングはどのくらい損？



アイドリングはどのくらい損？

アイドリングストップ^{※1}とは、車が停止中にエンジンを止めて燃料を節約することです。

10分間のアイドリングで、130cc程度^{※2}の消費をします。

車を一定時間停止する場合には、エンジンを止めて無駄な燃料消費の節約に努めましょう。

※1 アイドリングストップに関しては、自治体により条例が制定されています。

※2 (一財) 省エネルギーセンター調べ



正解
130cc



皆さんは下記の場面でアイドリングストップしていますか？



走行していなければ無駄な燃料消費となるため、駐車時にはエンジンを止めるよう心掛けましょう。ただし、交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。(自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。)



- ・手動アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキの効が悪くなります。
- ・慣れないと誤動作や発進遅れが生じます。またバッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。
- ・エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。

アイドリングストップは、安全な場所で実施しましょう！

停止場所がわかったら早めにアクセルオフするだけの簡単エコドライブ。

ゆっくり停止



早めのアクセルオフで2.1%の燃費向上に繋がるようです。

アクセルから足を離してエンブレキで減速している時は燃料の供給がカットされるなんて驚きですね。



今月のテーマ **早めのアクセルオフ**



燃料カット機能とは？

アクセルから足を離して減速している時は燃料が噴射されません！
車はエンジンブレーキ*を使うと、燃料の供給が停止（燃料カット）されます。停止位置がわかった時点で早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速してみましょう。また、坂道を下る時にエンジンブレーキを活用してみましょう。

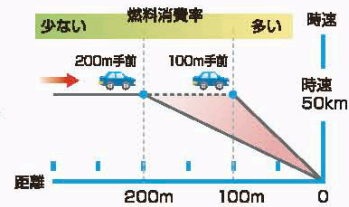
*車の走行中、アクセルペダルを離すことにより起こる制動作用（ニュートラルでは作用しません）
*エンジン回転数が低くなると（1200rpm前後）エンジンが止まらないようにアイドルリングに必要な程度の燃料が供給されます。



様々な停止箇所
早めのアクセルオフを
実践してみましょう

時速50kmで走行中、100m手前と200m手前の減速では、何%くらい燃費に差が出ると思いますか？（2000ccの車とした場合）

答えは約8%です。
（100m手前…11.94km/l、200m手前…12.90km/l）
※100mの差でこれだけ差は大きいですよ！
さらに計算上の話ですが、1日50回減速停止をすれば、いつもより100m早くアクセルオフしたとすれば、1日約5kmも無噴射状態で走行できてしまいます！



■ 事故防止にも効果があるエコドライブ

ゆっくり止まることを意識し、早めのアクセルオフを実践することで燃費向上はもちろん、前車との車間距離は自然に開き、予測運転をする余裕も生まれ、追突事故防止にもつながります。早めのアクセルオフは、簡単かつ効果的なエコドライブです。すぐに実践してみましょう。

クイズ

1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると何%程度燃料消費量が増加すると思いますか？

正解 
約17%
増加する

渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出発前、渋滞や交通規制など道路交通情報を確認していますか？

また、地図やカーナビで、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発していますか？

例えば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。

時間にゆとりをもち、計画的なドライブを心がけましょう。

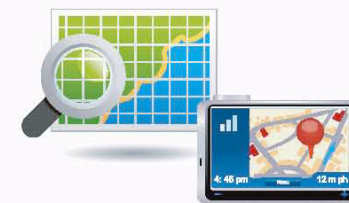
カーナビが装着されている場合は、これを上手く利用して効率的に走行しましょう。
道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。




「急がす、慌てず」はエコドライブの基本。余裕のある運転でいきましょう。

今月のテーマ 
渋滞を避け、余裕をもって
出発しよう  

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。



1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると何%程度燃料消費量が増加すると思いますか？  

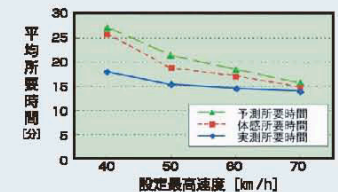
正解は 約17%

1時間(60分)のドライブが、同じ目的地に着くの道に迷って10分余計に走行して70分かかったとすると $70 \div 60 = 1.166\dots$ 倍
1.166倍、燃料をたくさん使ってしまう。この燃料消費(cc/km)の悪化を燃費(km/L)に換算すると14%の悪化に相当します。



先急ぎ運転は有効？

ある区間の走行にて、最高速度を時速40キロ、50キロ、60キロ、70キロとした時の予想所要時間、体感所要時間、実測所要時間の平均値を表した図



※参考文献 「交通心理学の視点でのITS」九州産業大学 松永教授

予想所要時間は最高速度が高くなるにつれ短くなっていますが、実測所要時間は時速40キロからは少し短くなるものの、時速50～60キロはほとんど変わりません。速度を高めるほど、目的地に早く着くと考える人が多いと思いますが、現実にはむやみに速度を高めても期待するほど目的地に早くは着かないことがわかります。また、別の調査では先急ぎ運転をしたことにより、急ブレーキの回数が安全運転と比較して約26倍に増えることがわかりました。先を急ぐ運転は燃費が悪化し、事故に逢う確率も高くなります。

仕事でもプライベートでも、事前のドライブ計画であせりをゆとりに変えましょう。